

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜 2 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全34回
科目概要	日本語能力試験対策N3は日本で生活する上でも必要な文法や語彙が多く、いずれN2合格を見据えて、N3の試験問題の形式に慣れ、きちんと理解する。		
到達目標	日本語能力試験N3に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	パワードリルN3文字語彙第 1 回		
2	パワードリルN3文字語彙第 2 回		
3	パワードリルN3文字語彙第 3 回		
4	前期 第 1 回 模擬試験		
5	模擬試験FB		
6	パワードリルN3文法第 1 回		
7	パワードリルN3文法第 2 回		
8	パワードリルN3文法第 3 回		
9	前期 第 2 回 模擬試験		
10	模擬試験FB		
11	ドリル&ドリルN3聴解課題理解		
12	ドリル&ドリルN3聴解ポイント理解		
13	ドリル&ドリルN3聴解概要理解		
14	パワードリル文字語彙第 4 回		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	復習		
18	後期授業開始：		
19	後期 第 1 回 模擬試験		
20	模擬試験FB		
21	パワードリル文字語彙第 5 回		
22	パワードリル文字語彙第 6 回		
23	パワードリル文字語彙第 7 回		
24	後期 第 2 回 模擬試験		
25	模擬試験FB		
26	パワードリル文法第 4 回		
27	パワードリル文法第 5 回		
28	パワードリル文法第 6 回		

29	パワードリル文法第 7 回
30	ドリル&ドリルN3聴解発話表現
31	ドリル&ドリルN3聴解即時応答
32	後期定期試験
33	後期定期試験FB
34	復習
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める
教科書名	『ドリル&ドリル 文字・語彙 聴解・読解 N2』 ※聴解のみ（ユニコム） 『パワードリルN3』文字・語彙／文法（アスク出版）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全34回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。まず、N2 に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2 に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解		
2	語彙 言い換え類義、用法／聴解 ポイント理解		
3	文法 文の文法 1		
4	前期 第 1 回 模擬試験		
5	模擬試験FB		
6	文法 文の文法 2、文章の文法		
7	読解 短文、中文／聴解 概要理解		
8	読解 長文 情報検索／聴解 発話表現、即時応答		
9	前期 第 2 回 模擬試験		
10	模擬試験FB		
11	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解、ポイント理解		
12	語彙 言い換え類義、用法／聴解 概要理解、発話表現、即時応答		
13	文法 文の文法 1		
14	文法 文の文法 2、文章の文法		
15	前期定期試験		
16	前期的試験FB		
17	前期のまとめ		
18	後期開始：読解 短文、中文／聴解 課題理解		
19	後期 第 1 回 模擬試験		
20	模擬試験FB		
21	読解 長文、情報検索／聴解 ポイント理解		
22	聴解 概要理解、発話表現、即時応答		
23	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解		
24	後期 第 2 回 模擬試験		
25	模擬試験FB		
26	語彙 言い換え類義、用法／聴解 ポイント理解		
27	文法 文の文法 1		
28	文法 文の文法 2、文章の文法		

29	読解 短文、中文／聴解 概要理解
30	読解 長文 情報検索／聴解 発話表現、即時応答
31	復習／聴解
32	後期定期試験
33	後期定期試験FB
34	後期のまとめ
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める
教科書名	『日本語能力試験N3 予想問題集』（国書刊行会）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	梅山 みどり	講義	月曜 1 ・ 2 限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全68回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。まず、N 2 に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験の N 2 に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	「言葉を覚えよう 1」（文型・表現） p 8		
2	漢字読みp16、表記p17		
3	文脈規定p26、言い換え類義p27		
4	[例題と解き方]（用法、文の組み立て） p11, 12		
5	用法p36、文の組み立てp37		
6	文法形式の判断p46, 47		
7	[例題と解き方]（内容理解） p68, 69 読解（内容理解） p74, 75		
8	[例題と解き方]（課題理解） p136, 137 聴解（課題理解） p146, 147		
9	漢字読みp18、表記p19		
10	文脈規定p28		
11	言い換え類義p29		
12	読解（内容理解） p78, 79		
13	「言葉を覚えよう 1」（名詞） p8		
14	聴解（課題理解） p148, 149、用法p38		
15	文の組み立てp39		
16	文法形式の判断p50		
17	読解（内容理解） p94, 95		
18	文法形式の判断p51		
19	[例題と解き方]p137, 138, 139 聴解（ポイント理解） p156		
20	漢字読みp20、表記p21		
21	読解（内容理解） p82, 83		
22	[例題と解き方]p71, 72, 73		
23	読解（情報検索） p124, 125		
24	「言葉を覚えよう 2」（動詞） p66		
25	[例題と解き方]p139, 140 聴解（概要理解、発話表現） p162, 163		
26	[例題と解き方]p11, 12, 13 用法p40		
27	文の組み立てp41		
28	読解（内容理解） p98, 99 p114, 115		

29	前期定期試験
30	前期定期試験
31	[例題と解き方]p141 聴解（即時応答） p172
32	文法形式の判断p54, 55
33	読解（内容理解） p116, 117、聴解（ポイント理解） p157
34	聴解（概要理解） p164, 165
35	漢字読みp22、表記p23
36	「言葉を覚えよう 2」（助詞） p66
37	文脈規定p30、言い換え類義p31、聴解（即時応答） p173
38	読解（内容理解） p102, 103、（情報検索） p126, 127
39	聴解（課題理解） p150, 152、（ポイント理解） p158
40	文脈規定p32、言い換え類義p33
41	「言葉を覚えよう 3」（い形容詞） p134
42	文の組み立てp43、読解（内容理解） p118, 119
43	聴解（概要理解） p166、（発話表現） p166, 167
44	聴解（即時応答） p174、漢字読みp24
45	文脈規定p34、言い換え類義p35
46	読解（内容理解） p86, 87
47	聴解（課題理解） p152, 153
48	用法p42、文の組み立てp45
49	読解（内容理解） p106, 107
50	聴解（ポイント理解） p159
51	文法形式の判断p58, 59
52	用法p44、読解（情報検索） p128, 129
53	「言葉を覚えよう 3」（な形容詞） p134
54	聴解（概要理解） p168, 169
55	文法形式の判断p62, 63
56	読解（内容理解） p90, 91
57	聴解（即時応答） p175
58	表記p25、読解（内容理解） p120, 121
59	聴解（課題理解） p154, 155
60	読解（内容理解） p110, 111
61	聴解ポイント理解p160
62	読解（情報検索） p130
63	後期定期試験
64	後期定期試験
65	聴解（概要理解、発話表現） p170, 171
66	読解（内容理解） p122, 123
67	聴解（即時応答） p176
68	読解（情報検索） p132, 133

成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める
教科書名	『JLPT N3 日本語能力試験ベスト総合問題集』（ジャパントイムズ出版）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	永村 洋藤	講義	木曜 1 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第1回	
2	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第2回	
3	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第3回	
4	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第4回	
5	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第5回	
6	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第6回	
7	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第7回	
8	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第8回	
9	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第9回	
10	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第10回	
11	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法2第1～2回	
12	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法2第3～4回	
13	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文章の文法第1～3回	
14	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文章の文法第4～6回	
15	前期定期試験		
16	前期試験FB		
17	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第11回	
18	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第12回	
19	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第13回	
20	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第14回	
21	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第15回	
22	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第16回	
23	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第17回	
24	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第18回	
25	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第19回	
26	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法1第20回	
27	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法2第5～6回	
28	木曜1：ドリル&ドリルN3文法	文の文法2第7～8回	

29	木曜 1 : ドリル&ドリル N 3 文法 文の文法 2 第9~10回
30	木曜 1 : ドリル&ドリル N 3 文法 文の文法 2 第11~12回
31	木曜 1 : ドリル&ドリル N 3 文法 文章の文法第7~9回
32	後期定期試験
33	後期試験FB
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める
教科書名	『ドリル&ドリル日本語能力試験 N3文法』（ユニコム）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	高橋 尚子	講義	木曜 2 限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	N2 に合格することを目標に、日本語能力試験の読解問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。読解問題をより早い時間で解くためのテクニックを知り、試験に合格するための力を養成する。		
到達目標	日本語能力試験N2 に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	ウォーミングアップ		
2	練習問題 1 日目①		
3	書き言葉に慣れよう①		
4	練習問題 2 日目		
5	書き言葉に慣れよう②		
6	練習問題 3 日目		
7	書き言葉に慣れよう③		
8	練習問題 4 日目		
9	書き言葉に慣れよう④		
10	練習問題 5 日目		
11	読むスピードを上げよう①②		
12	練習問題 6 日目		
13	読むスピードを上げよう③④		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FB		
17	練習問題 7 日目		
18	読むスピードを上げよう⑤⑥		
19	練習問題 8 日目		
20	読むスピードを上げよう⑦⑧		
21	練習問題 9 日目		
22	読むスピードを上げよう⑨		
23	練習問題10日目		
24	いろいろな文章を読もう①		
25	練習問題11日目		
26	いろいろな文章を読もう②		
27	練習問題12日目		
28	いろいろな文章を読もう③		

29	練習問題13日目
30	いろいろな文章を読もう④
31	復習
32	後期定期試験
33	定期試験FB
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める
教科書名	『必ずできる！ JLPT「読解」N3』（アルク） 『新完全マスター読解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク）